

第24回技術研究会 次第

令和8年10月6日(火)～ 10月7日(水)
横浜市教育会館 ホール(4F)
神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘53番地

【一日目】 10月6日(火)			
時 間	分 類	講 演 題 目	講 演 者
10:00～10:15		開 会 挨 拶	堀口理事長代理
① 10:15～10:50	調 査	運転計画業務のDX化に向けて —運転曲線作成システム(SPEEDY)の開発—	鉄道技術センター 調査部調査課 調査第二G 青山 龍士
② 10:50～11:25	機 械	青函トンネル高速化に伴う煙検知装置の改良 —ヴェイパー現象(水蒸気)への対応—	鉄道技術センター 設備部設備企画課 機械技術G 栗飯原 充善
③ 11:25～12:00	軌 道	デジタル式レール踏面測定器の開発	北海道新幹線建設局 軌道部軌道第二課 山崎 晋太郎
12:00～13:30		昼 食	
④ 13:30～14:05	橋 り ょ う	工期制約に対応した河川内大深度ケーソン基礎の施工 —中央新幹線、笛吹川・濁川橋りょう—	関東甲信工事局 山梨鉄道建設所 小林 幸多
⑤ 14:05～14:40	電 気	酷寒地における電気融雪器の性能評価 —北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)電気融雪機器設備—	鉄道技術センター 電気部電力課 電灯電力G 徳永 悠
⑥ 14:40～15:15	高 架 橋	工事契約にECI方式を適用した高架橋工事 —北海道新幹線、札幌車両基地高架橋—	北海道新幹線建設局 札幌建設事務所 札幌第三企画G 春山 裕喜
15:15～15:30		休 憩	
⑦ 15:30～16:05	用 地	駅出入口上部空間の利用を目的とした一般定期借地契約による土地貸付 —神奈川東部方面線—	本社 用地部用地企画課 河本 昌也
⑧ 16:05～16:40	建 築	トンネルに近接した駅の旅客上家における圧力変動及び風速の検討 —北海道新幹線、新小樽(仮称)駅—	鉄道技術センター 設備部設備企画課 建築企画G 本田 美穂

【二日目】 10月7日(水)			
時 間	分 類	講 演 題 目	講 演 者
⑨ 10:00～10:35	ト ン ネ ル	変状リスク低減に向けた山岳トンネルインバートの設計・施工	鉄道技術センター 設計部地下構造課 山本 浩平
⑩ 10:35～11:10	D X	ICTを土木工事に活用する課題と展望 —北海道新幹線、新八雲(仮称)駅高架橋—	北海道新幹線建設局 八雲建設事務所 土木担当G 権藤 稔
11:10～11:20		休 憩	
⑪ 11:20～11:55	地 域 鉄 道 支 援	鉄道・運輸機構の地域鉄道支援業務の活動	本社 鉄道企画調査部鉄道総合支援課 青柳 広樹
⑫ 11:55～12:30	ト ン ネ ル	変位が大きい押出し性地山におけるトンネル設計、施工 —北海道新幹線、渡島トンネル(台場山)—	北海道新幹線建設局 北斗建設事務所 土木担当G 中野 昂人
12:30～14:00		昼 食	
14:00～15:30		【特別講演】 土木と建築の連携の現状と未来(仮題)	東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授 楠 浩一 様
15:30～15:40		休 憩	
15:40～15:55		閉 会 挨 拶	玉井鉄道技術統括役

○本行事は土木学会認定CPDプログラムです。
認定番号:JSCE26-0782 4.7単位 (令和8年10月6日(火)10:00～16:40)
認定番号:JSCE26-0783 3.9単位 (令和8年10月7日(水)10:00～15:55)